

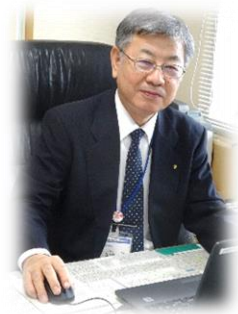


五十嵐教育長、7年間ありがとうございました

3月31日をもって、五十嵐教育長が退任することとなりました。以下退任のご挨拶です。
なお、今年度の「輝け！おばねっ子」は今回で最終号となります。ありがとうございました。

退任にあたって

五十嵐 健



私は、38年間教員として勤務後、7年間教育長として勤め、計45年間教育に携わりながら過ごしてまいりました。この間、市内小学校には、4校で21年間、市役所には教育指導室長時代も含め10年間お世話になりました。子供の成長を保護者や地域の方々と喜び、

学校課題に対して多くの方々に相談と協力を願い、助けていただきながら乗り越えてきたと思っています。

私の教育長としてのスタートである平成29年は小中学校統合計画が終わったばかりでしたが、少子化の波は予想を超える速さで迫り、次の統合に向けた市の方針決定が望まれるという課題への取組でした。

1000人を超える保護者アンケート結果を元に、市内5地区で学校のあり方を話し合い、市の方針案についての意見交換会、更には全地区に「市小中学校のあり方検討委員会」が設置され、市内小中学校をそれぞれ1校に統合するとして「基本方針」が決定したのは令和4年2月のこと。ここまで、5年間を要しました。

その後の学校建設に向けては、「学校建設検討委員会」の検討を元に、学校建設基本構想・基本計画を創り、設計業者選定のプロポーザルを経て設計会社が決定、2年間をかけ、先月23日に基本設計(案)を市民の皆様へ提示できました。

この間、地域や保護者の考えを大切にしながら、いくつもの課題を乗り越え、今後の用地造成及び校舎建設と具体的に統合小学校のスタートへと向かうこととなりました。

また、任期中に大きな課題だったのが、令和2年2月末、突然の国からの学校休校要請に始まるコロナ対応です。学習のまとめや受験、卒業式間近の時期にどうしたものか、全国の学校、教育関係者が混乱した事案でした。感染症5類移行となった令和5年5月まで、実に3年以上影響を受け、休校もかなりの日数になりました。そんな中、短期間でGIGAスクールの整

備が進みました。数年をかける計画だった一人1台タブレットやインターネット環境整備が瞬く間に進み、学習方法そのものも変化してきていた事とも相まって、教室での学習風景が一変しています。同時に、地球全体の温暖化の影響を受けていると思われる熱中症対策も大きな課題となってきました。

正に時代の変化に応じた学習環境整備が求められている時に、統合小学校建設が進んでいる事をプラスに受け止め進めていくことが大切だと思いました。

加えて、休日部活動の地域移行、学校運営に地域が積極的に関わるコミュニティ・スクールの広がり、英語教育の低年齢化など、これまで「当たり前」と思っていたことが次々変化していく世の中になっています。学校も変化の波に乗ることも大切ですが、同時に保護者や地域の「当たり前」の考え方も変える必要を感じています。是非、世の中の変化に応じ進化する学校教育を理解いただき、応援して下さいますようお願いいたします。

一方、教育に関する特殊性についてもご理解いただきたいと思っています。

子供の世界では、課題にぶつかった時、苦しみや悲しみも伴いますが、自分の問題として悩み乗り越えることが、将来の自立につながる大切な経験となります。「ここに大人が介入し、解決してあげよう」とか「失敗しないように先回りして問題を回避し続けよう」となれば、その子の将来は心配です。きっと、課題に出会うたび、自分で解決するより先に、解決してくれる大人を頼ることになります。大人が良かれと思ってやっている事の中には、その子の将来が心配なことも多いというのが、教育の特殊性です。

結びに、これまでご支援、ご指導並びに励ましをいただきました保護者の皆様、地域の皆様に感謝申し上げますと共に、市政の益々の発展、教育の益々の振興を祈念しまして、挨拶とさせていただきます。

長い間のご指導とご支援、ありがとうございました。

【担当】尾花沢市教育委員会こども教育課
教育指導室長 工藤 雅史
TEL 23-3330